

1917

対象疾患	非小細胞肺癌
使用する治験薬	オシメルチニブ（EGFR チロシンキナーゼ阻害剤）〈経口薬〉
治験デザイン	<p>第Ⅲ相試験</p> <p>A 群：オシメルチニブ</p> <p>B 群：プラセボ</p> <p>※ 医師や患者さんがどの群の治療を受けるかは選択できませんが、A 群または B 群のいずれかの治療を受けることになります。</p> <p>※ 「プラセボ」とは、治験薬と色や形が同じですが、有効成分は入っていません。プラセボと治験薬をそれぞれ使って、治験薬による効果と、プラセボを飲んだことによる心理的な効果を比べて、治験薬が本当に有効なものかを客観的に評価します。</p>
参加いただける患者さんの条件	<p>以下の条件を満たす方が対象となります。</p> <ol style="list-style-type: none">1) 文書により同意できる2) 20 歳以上である3) 非小細胞肺癌（ステージ 3）と診断されている4) 化学放射線療法を受ける予定の方（または受けている方、受けた方）5) EGFR 遺伝子変異が陽性である方（治験参加後に検査で確認致します）6) 臓器機能が保たれている <p>※ 上記の条件は概要であり、これらに該当していても参加できないことがあります。</p>
治験責任医師	呼吸器内科 笠原 寿郎
治験依頼者	アストラゼネカ株式会社
備考(企業 HP 等)	